「お母さんは?」 「わたしの小さい時に亡くなつて

「わたしが五つの輪、わたしをお はあさんの手に置しておいて他家 へ再動たのださうです」 さんには英の後、 他つたこと。 それで、お母 動にいった。 すれど、酸の窓に及は、どこまで けれど、酸の窓に及ば、どこまで なことが然になるもんです でのそうですから………」 一般は红指揮したけれども、書は 一般はなればしたけれども、書は 0 1/2 16 やがぶにも紫顔に悪まれるし、脱いのであつた。事質、世間の動物

戦してどんな無続である?」 **・一お替代さん。お似さんに であいるい時分、一度か二度胎は で来てくれたさらでございますが、よく聞えてゐません」 ででもたつしやなのかね?」 でいょえ、五六年際に二人の子能 代は相手の変を汲みかれて云ひ跳 『そんな風に、親に楽てられたとどざいます』 しも出來なくなるのが腎臓の状態 も出來れば、もう人間らしい事ら 歌者の肤臓だ。一方は、彼。手をし いい話しが健心致武の変や変と野 がいことのは、どんなにあがまる のでも、ドントの飲かるし、一 毎日身を粉にして働き通して 起語が山人で、子供の二三人 個な給就しか得られない。大

うには駆けない? で もいよ。お替代さんの事は、間が されから始終社悪して。いゝ型の

脱版は単ごよろこめていつ

化思

日日案內 一回金元十銭

洋帳簿 各種製本等門 三省堂製本所

京染洗 張 専門 にしきや









08.21 NR.21

田俊田 大学

131

13

31

0,1

7 7 8

Me. III

なの顔をのぞき込んで暮れた。 ないはは振りかへつて、ほの白い

お替代は、起もとばかり見て形いてゐた鍵をもたげて、根手の故 にも苦あれば樂ありといふ事があれている掛けだ。然し、古いことわざいない既だれえるい

限 ルビ和祭・前体管町編本田標區芝市京東 所作製堂進盛明 豊田五四島舞歌・春〇一〇八三京東韓編 の鉱年 星维

チを有す

ツネに新京一のカ

新京一のニンキは

新京ノ青柳

簡易輕便

青松の鯛する

食 道

電話三〇九〇番 祝町鮮銀北横

動ち

焼り

水寄

たせ

3

すし竹食堂

機通電話二七二四番

中六歳位迄▲人泰族



維軍將領憤慨

何應欽に對し嚴談

「天津二十一日養國通」北平に集つた商震。高柱窓、于學中央軍にのみ 知して損害を中央軍にのみ 知して損害を中央軍にのみ 知して損害を中央軍にのみ 知して損害を

(B 蔣介石の北上を希望

中央黨部に打電

地方長官會議

第五日

思想、教育

方面討議

職

天津市黨部

ださ 住みる何答を求むるき要求し

部支拂。 就職日の紹介等四ケ

何應欽の

以外の者はその徳母職に止めに諮問し貨車北軍場は全部これ軍要がは全部これ 任の事い個人顧問ウエンフェ何趣飲は南いから蔣介石の信 變化の形

医エがこれ

数大百七千三

近であるって

で本日中央無部に電報した で蔣介石の夢かに北上せん事 で蔣介石の夢かに北上せん事 の報館は何應欽の威信地に襲ち を消りて局まり事様に用者の 総部は何應欽の威信地に襲ち を消りて局まり事様に用者の 総部は何應欽の威信地に襲ち を消りて最より事様に用者の 総数は飛行隊長さして白系露 のである。又何 に変がした。 のである。 のである。 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでる。 のである。 のでる。 のでな。 のでる。 ので

北平軍事分會

徴發禁止を

熱河省から脳逐された湯米崎|應する剝漿、

の民の機悟。思想問題、特に 文相から聯盟脫退後に於ける 文相から聯盟脫退後に於ける 應する刺策、義務教育費両庫の単数目の赤化事件、これに

進したにからはらず、これを が質力保存の質に真峰口正面 が質力保存の質に真峰口正面 で其の行動を共にしてある

商兩軍不和

年の番に包含され徹底的打撃 を受けたので朱智元軍さ曲員 を受けたので朱智元軍さ曲員

譲丁を安兆

買

カ軍に迫襲せは 凝東の我が軍斷乎猛撃せん

軍にしてその態度を改めざるに於ては自衛的見地より斷乎たる感躍に出づるは常然であるさ観られてゐる方へ退却。先づ一段落さ見られてゐるが、成は近く主力は長城線附近へ下るこさがあるかも知れぬが、萬一支那【遷官社】日發國源】 敵の據點潰滅の質め長城線を顧内へ能出せる皇軍の攻撃に彼つて敵は現在のこころ襲河西

人の偏頗な處置に 制の支那軍が多数人り込み手來物資の費でない地方に無統

時に終始爾に殺到したが、従儒殿榮、馮占樹等の軍隊は一 ・統一を指令した を指令した に同し老幼。女子 は四 散す数 はい 名師 落は殿虚

北寧鐵路從業員 大會で四ケ條を決議

を設立等を強調した訓酔を含むに関する大紹。 替利夫線の精神に則り婦民の覺悟を促せる 改正。既民精神作與、教育制 第分高関し、猛烈に活気を呈 サバタイル磁道構内の蘇入は サバタイル磁道構内の蘇入は

駐支蘇聯大使

ルシア號で上海に向け出発し 一日午後五時費のエンプレス 一日午後五時費のエンプレス 上海へ出發

反駁

秘書 提

出

ポイント閉鎖後 人引揚げ

積載車

が使用料を要求すべく目下管理局に於いて審査中一方東級 理局に於いて審査中一方東級 では高一たが、右につき常島では高一

半和的解决の氣運漸く濃厚 ち研洲域の合法的主張の骨

底より蹂躙し一方的に東路級が現け協定の精卵を

んさしつもあり、亦器試験でもます、暗に事態の粉糾を聞るの照貨に對し何等の回答を發 でるる歌二千幅に対し、これ 消の貨車が東磁線に入り込ん

十六日より

三日間

☆運轉課長ゾットフ氏は弱人日ポグラニチナヤにてい東

車せしめず

思観する程でなく、物貨職費をアメリッ財界の實狀は左程をアメリッ財界の實狀は左程の他なしましてゐる、即の対象要動で我興度特別職したが、大蔵省でも、正金でもの財界要動で我興度特別職し

をして證明せしむる迄は發

歌したが、大嬰はこ會見し、貨車問

四、出境列率は調査警察隊員限の健率せしむ

立合ひ險質の上承認す、よの境別率は網境警察除員

に依る景氣恢復を闘ら

◆太平生命、富國衛兵保險親 一十一日生後四時三十分南 一十一日生後四時三十分南 一十一日生後四時三十分南 一十一日生後四時三十分南 一十一日生後四時三十分南 一十二日午前八時來京 一十二日午前八時四十分水京 一十二日午前八時四十分小 二十二日午前八時四十分小

目下盛業中なるも歸國に付至急議る

誤り店カフエー飲食店(姓の在社)

ボクラ驛出入

令であるさのみ答べて多くを もが、彼等は出發の理由を蕁 なが、彼等は出發の理由を蕁

6、四月十日以後十九日心論件付で返還出産せる4のであ

はない

圓爲替昂騰を

大藏省、

金共に靜觀

東鐵ゾ課長と

國境警備隊長懇談

石油タンク車は一週間内に條

貨車敷

「月十六日より十九日茲三日間のボクラ師出入貨車左の如し出境空車(石油タンク)六一臺大豆積載車 四四臺大豆積載車 1三二臺

兩日由

に李督辨 件にて出境させる事

は一週間内に返還せしむ たる事明白なるものでーク

提供せしむ つて富餐祭師に師の一室を

東磯鳥磁貨車交換規定

低落はしまい、從つて大蔵金禁止である故種預的にド 其他正金でも政府から賃 戦中ス必要なしさして

外務省辭令

に應じます

望通り市價よりはお安く建築の御相談店舗、

事務所、住宅ごんな家屋でも御希

「東京廿一日登副領)本日の 「東京廿一日登副領)本日の

任大使館参事官 八條子の後任 縫田榮四郎

一、機構車、貨車の使用料さを支排ふべし

我を折つて満洲幼園の合理的さ云ふにあるが露胡側は結局

て農林政務大官有馬額寧が越産業組合中央金庫選事員を駐産業組合中央金庫選事員を駐 氏が就任するこさもなり一有馬次官の後任には織田信 で御融通することもいたします 式會社と連絡を取りましてそれを年賦建築費の六割までは弊社が東洋拓殖株 他に御便利な金融の方法もありまして の直髓を發揮いたします すからきつどお氣に召すやう近代建築技術者は最も優秀なる専門家がおりま

さいまして家屋を建築なさいますなら 期せられる各位は良く弊社を御利用下 業界益々多事な新京經濟界に御發展を ば非常に御有利かご存じます

此 位 動 三 等 子 群

林政務次官伯留

御申越次第前員を何はせまして萬事御

便宜に御取計ひいたします

日の間間で左の如く正式

新京建築助成株式會社

營業所 店 電話三〇八三巻 新泉八島通六九

八時歸京

事往來

満洲國反駁文を**發す** 抗議 9

なつた

市場がポンド建故。ドル價低では柳捌して居る

實施案

米國上院で

蔵産物作引上げ

手交された反駁文内容はツ聯 ・ 生 学 が は 他 二十日 で した が 之 、 對する 強洲 観 側 の 反 駁 が 之 、 對する 強洲 観 側 の 反 駁 か 之 、 對する 強洲 観 側 の 反 駁 か 之 、 對する 強洲 観 側 の 反 駁 ・ と 学 修 餅 よ り ク グ キ オ ブ 氏 に 生 李 修 餅 よ り ク グ キ オ ブ 氏 に 数は新京交地部ご期日打合せ 説別されてゐる。 尚反駁女競 がする等の要項を含むものご がする等の要項を含むものご

しむら電近く一億ドルを支出 ・ 電物價格引上け計畫を質縮せ ・ 電物價格引上け計畫を質縮せ

する家を可決した

问題を建

他の要人

議を在ハ 反ヒットラーの一 ルピン周乙領事に手

めパ競方前も貨物列車の出入

ユダヤ人 ハルピンの 反ヒットラーの

機關車四輛を 2000年を派し十七日入境のデカギッケバカイル戦道代表は在 600円 を派し十七日入境のデカギッケ派し十七日入境のデカギッケ派し十七日入境のデカギッケ派し十七日入境のデカギッケ派し十七日入境のデカギッケ派と で目 達して来た

鐵道代表 あるからユグヤ民族 イカ

支店四平街

號を以つて蜀外在留

管を得せられてめる

レーニンの

世二日午前等はごろ市内三笠 戦前後の内ェ人男が登樓し記 業抱へ的婦マサチさんを揚げ 家抱へ的婦マサチさんを揚げ 本代四圓五十銭を翌朝支拂ふ からさめしさて翌朝になり金 からさめしまで登朝になり金

總會出席者に 赤十字、愛婦

「東京廿一日養國面」十六日 おさらばを告け一気に京城に復の日本を訪れた佛飛行家 イ 飛び住路のコースで帰還する と 一根で住路のコースで帰還する

き、交戦を開始したが逃抄足北方環域に於で敵匪側に追付

對セントトー 明大惜取

ス野球

仕路のコーフ

へで贔國

誕生記念就賀會

放レーニンの既生与に常

中の軍司令部鹿舎の1

居られる。

日午前一時の間に市内三笠 日午前一時の間に市内三笠

市街双方の便をはかり

國外在留の

ペチャン

朝鮮人酌婦泣

に入れてあつた現金十五<u>圓五</u>田中絹子さんがば様トランク

あつた現金四十三圓。同女給きさん所有のトランクに入れ 怪盗が忍び込み女給官園ユキ

滿洲國人假登錄暫行規則

近日公布されん

の出現を見るこさは確實さ

の戦史旅行視察職は二十四名 験軍士官単校生三百四十六名 験事士官単校生三百四十六名

れてある。其建設地は

洋着;すりい丸で来浦。 新戸の数官に引率せれ二十八日大

女給さん

現金を失敬さる

午後三時那覇市街に不時着陸 ― 臺灣へ向つた 「那覇仕」日韓昭祖」 濱松台 ― した濱松軽爆撃機三機は同地

(東京師)政友會代謝士鈴木 隆氏に係る護皋遠反事件は木

鈴木雞代議士

失格になる

ルズ嬢の出發は

一二日早

那覇市街に不明着

級一一八三名、西族場か奉校新郡町室町小原校は二十三季

Wを要する問題さして である時間さして

士官學校

映画會が同り

十五県級七一九名だつたの

ら非常な興福が接上つてる

新京に

に伴つてゐる、即ち昨七年度

に改増築僅に数数至を増加す を加き姑息的な手段では義務 を加き姑息的な手段では義務

が一部のおり、これのでは、これのでは、これが一七二八八へに新京

中るであらう。かてる急變化 の関小學校はH敷地構内全部

の南小學校は日敷地構内全部

語人参集盛會を極めた ので寛成子の赤系路人は同

來年新學年迄に新校建築か

昭和六年末新京附属地の日本

は三大九二月へ、人口一〇

殖にる殖にる學童

對策に惱む當局

醫療機關 惡疫の撲滅を圖

各地主要港に檢疫所を設置

有の悪疫健生すればその猛威を関のない地方が大多数を占しる状態にあり、一度横洲特別のない地方が大多数を占しているがある。 民政部の衛生對策

発見し直にか京著に国出た 本稿に包み資楽してあるを二 十二日午前十時ごろ通行人が 十二日午前十時ごろ通行人が 西公園入口村田消遙園裏に日

小銃彈と薬莢を

申込み受付

において開催されることに決は正午から西廣場小學校勝党 日に於にける官民聯合祝賀曾既和、來る二十九日天長師常

領田中尉の

工党淡紫

死產兒遺棄

天長節祝賀會

公園代替員王兆祥屯(川九)が二十二日午前五時頃新發屯西

より五月五日まで 種質の日より

五月二十五日まで四、割引率 二、三等住後に四、割引率 二、三等住後に四、割引率 二、三等住後に一型。以外人替浦運賃の二割引五件、依件 本割引旅客には常工修所定の主要者優行の割

る事三千回、後編東軍場託さ と、及漢蒙の資源質情を日本 し、及漢蒙の資源質情を日本 を利律を捕々に紹介し請演す

次の規定により乗車賃の割引 十二回納常總會泰列者に對し より局線又は商船大連航路 四月二十一日 の結果、小統領、整英は戦後 の結果、小統領、整英は戦後 の結果、小統領、整英は戦後 **統領三百五十分、磐莢、五十** の本の関東方廟府跡淡月積より 暗に来じて放棄したもの

する事さなつた

年前九時は春寺に於て奉行為の死を遂げた故陽東軍崛託揖の死を遂げた故陽東軍崛託揖 揖場氏葬儀 盛大に執行さる

遺骨來京

重爆機は

本氏の舎別式は二十三日午 44 中一時太子堂に於て實業整都 中一時太子堂に於て實業整都

本願寺へ收察される予定であ 列車で將校の遺骨一体來京西 は大腿がに重傷を負つた模様 であるが、この戦闘で王春生

三、体匪出蘇間の

匪は石田、市 賀州支除のためれば東寧方領に縁居せる三 俠

事實を非達した
事實を非達した
事實を非達した

東京局大、二〇演輯(備3 新京局七、一〇ニュース 新京局七、一〇ニュース 新京局七、一〇ニュース 新京局七、一〇ニュース 新京局七、二〇ニュース

「ハルビン二十一日登録!!」 衝突を計劃

する事さなつた、松花江の

さなたと野州昭を願ます 感謝法別會を行ふ

院に入院中のを引すのいます

水上偵察の

中格、飛行協會副會長を永く

内藤

電話三九〇七

務めた

森家ペルトライン

一航空兵惨死す

ブジオ

新京后八、〇〇演藝二曲台奏 東京后八、三一二ユース東京 中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯 中央放送局編輯

tt

よの銀相場

大鹹大鈔 洋幣併票

九七十五〇

廿一日朝臺灣

松花江解氷し

ロ日一齊に就航ミ决定

岸貿易に殷盛を傷めるものして多大の期待が、懸けら

大會結成を書策

小明さなつたこれが、安否を氣遺の伊原間村沖合

者歓迎及び外村牧師特別傳導

長岡將軍

洋酒

大石平氏の

角縣中間老四崗山脈に逃げ 黎機で訓練中二十一日午後二時五分突如衝突。 沈没憶死一等航空兵平林正太、周二等航空兵瓊陵虎二郎は水上偵【東京廿一日侵國通】 海軍省及表。 館山海軍航空線海軍

東京館一一、石〇時高剛説(編 新京后四、〇〇中高剛説(編 新京后四、三〇演藝 新京后四、三〇演藝 新京后四、三〇演藝

吉野町目扱の場所

散々打撃を受け再起不能さな に乗じて東寧に侵入せん計割 に乗じて東寧に侵入せん計割 してゐる模様である、日本軍

新京局五。河〇ニュースへ

艦の護衛の下に一斉にハルビ 花江の氷し瀬く解けたので航 就航する事ミなり、多数の船 は二十日午後四時を明し砲

陸上競技聯盟 全亞細亞体育極東

外村牧師。 演題信仰生活の外村牧師。 演題。再び十字架に就て

店 ス

雄酷 卸問屋プ 新原日本横頭七二

安店 奉天。新務州

満洲國入國手續き

五月五日東京で開催される日

3.(よドギ大月一日以降講用戦政府の設行する旅券並びにその杏庭を要す。右手講洲関民にして同外に施行せんさするもの並びに講問調復土に入職せんさする外に東京廿一日産助語)。 駐日領洲婦外署では二十一日左の如く較表した

各匪團に大打撃を與く 柳河、金川、境界の山地を存む、一大大、中央各軍一斉に行動にする。同軍は早くも河底

東邊道地帶 第一討伐成功 け潰走。王鳳閣は目下頭遺潰れずべらもなく、大打撃をつ立つた敵は精鋭なる警備軍に

以軍を集結中であるが警備軍 門南方二十キロの地點に**於て** を噛むの穏で及母を試みて力逃げ遅れた王春生は窮乱 は二十一日午後三時五分神 は二十一日午後三時五分神 は二十一日午後三時五分神

計〇でトーマス取が明

を零敗せしめ四韓五十分閉

日本基督集會 朝の禮拜(午前十件十)

門司、神戸(大阪)行門司、神戸(大阪)行りらられ、四月世七日はるびん丸、四月世七日を後、丸、四月世七日を後、丸、四月世七日を後、丸、四月世七日を後、丸、四月世七日を後、丸、四月世七日を後、丸、四月三十日

四月廿七日

(三十五)

明しやつて、江戸の神師が

舟を擽るが如し但病厄注意

るが如き不安の日 人手に渡るが如し 不利を思へご戦

建聚房用品品 機械工具

在。 庫。

ン引 ラ板

金• 物• 新京曙町四丁目十四番 新• 設•

建•

ハ至急左記へ御問合下

東亞興隆

川石原



数加毛路沿台式除 町占住區東市院大

吉野町二丁目

計

スラスニュを 最のあるの開

| 10'01 | 10'21 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 10'00 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11'22 | 11

4 三 号 元 天 8 5 章 高 到

| 本天明 | 本天明 | 本天明 | 本子 | 11 | 10 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 11 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |

上 一 一 首

一个へで入連 でのでで連 での名が

士 電話三七二八番 一丁目三番地

では、これな言葉が洩れた。 では、これな言葉が洩れた。 では、これな言葉が洩れた。 では、これな言葉が洩れた。

人だ婦の太い、李世倫だつた。 地面は、徳月堂の強れを汲ん

いた。 は、 でいた。 は、 でいた。 は、 でいた。 でいた。

ら赤い歌出しが、はみ出しの赤い歌出しが、はみ出し

店にあり 清等 上 白 米 油 米

个 田商店

花も質もある アタュカイ 美人揃ひのウエータ連のサ ホガラカなホー

ーピス振りを卸覧とさい

ライオンカファ 三卷町二丁目 電話二三七九番

金華堂時計店 電話二六四五番 ***** ***** 地服洋 た合って あって集盤 た合って 合服のお仕度を 横田洋服

本日より皆様の與勘兵衛が生れました

ーリク身美プラクにめどケ

8 %

では の外間に移居した 一番組織を表した

こして管督民保護其他機構といれている。

し、通常を認むる時はedない。 通常取得を要求する者に対 にして本邦の

は此の限りにあらず 第二條 網絡假登録を含さん ま二條 網絡假登録を含さん

こさを得ば細

例交話では二十日時左記訓令を受信して假登職をですべし を受信して假登職をですべし を受信して假登職をですべし

假登録に 外交部線表 開介石 外交部線表 開介石

一、 個登録であるから夫に嫌 おる

が関の王追

るこさ勿論であ

就及第一號の書類の提出を

署は臨定に依り帰項形

三、 欺罔の所爲により假登録原籍假登録原籍にようの孫とは明確假登録原語に贈する事がを作成すべし常談官署は明確假登録原

Mac De 後は一参で雖る顧内 へ議支の境段ため長坂一都を 関東軍は進に熱河の攻略を終

保した後は一歩ぎ雖し間流安の境線たる長坡一番

情的に必要の 共現地の狀況さ地形に進し戦 が配備に復帰しつつある然れ

がその保護を享けるもので我の保護を享けるもので我の保護を享けるもので我の相を得又必

開洲岬内に終て出生し且

別当内に生の本様を

假登錄暫行規則

國外在留

(日)

國外在留

假登録を開

三、在留人にして野來端州國民たらん三欲するものは須まべきてあるが同時に本 似まずべきてあるが同時に本

一、調内在住ー確實なる天一

我國の法規及慣行を無視

自衛的見地で

乎たる處置

關東軍幕僚語る

身許申告替(別紙亦二號

類及び息質を添へ名談

観し又は風俗を素す成のる ちするこさを得

・ あが我軍の意氣既に敵陣を吞し、 大馬附近の陣地は頗る堅固で 大馬附近の陣地は頗る堅固で します、南

最近吉林省事安縣下の農民は ・大利駅に陥りつしかるが現在 ・大利駅に発展する ・大利野の ・大利駅に発展する ・大利駅に発展する ・大利野の ・大利駅に発展する ・大利駅に発展する ・大利駅に発展する ・大利野の ・大利の ・大利の

天 氣 ご 氣 温 南よりの風晴一年養

菌缝大大

四。官し、は改書和

其他参考さなるべき哲類

おものではないが、 國籍取 なるものである

滿洲國外交部訓令

五、突敗第五條はかつて路囲

して世間ソ協定に基かざる して貴力の主張せる事に對 して貴力の主張せる事に對

東域は開洲域の主権下

・ ある古は貨物の積換へを含 のの方では貨物の積換へを含

ソ聯艘道の貨物を資訊輸送がせられたるも之が貨車鐵がせられたるも之が貨車鐵が

大、大に貴副理事長は奉路協大、大に貴副理事長は奉路協定によるご云へご定默及建定によるご云へご定默及建定によるご云へご定默及建

雙更せり径て定数第三條は

如き反駁音を中東鐵路局宛發した

對し、二十二日交通部では丁交通部總長の名を以て大要次の四月十日中東鐵路副理事長々氏よりの不成意極まる抗議文に

殺したる事さなし

直一十四台は明かにソビ 政府に所属するもの

八年二十八台、一九一九年選行されたもので、一九一九年間車を四国の事情よ デカボット区型機関車は 本問題を蒸返した貴方の窓に明祀されてゐる。耳 文書一の余地な

活責めは蘇聯に

貫力行為止むなり

一々箇條をあげ根こそぎ反駁

氏は左の如く語る

米頭で購入したさ云つてる機路湖の銀道に使用する場

に明文がある。即ち一九一 がに管理局委員會の関事録 でに関する。 おに就いては理事會並

□八一、二〇年の八七六〇 二二年の八九四七、二三年の八九四七、二三年 一九年の第十四七、二三年 七月二日の管理が委員會 デカポフト段闘車をソヴ の物ならここを臨

を措いて他になく

要求が提続されてゐるが、像がある。次に貨車返還の事態に對して要求する推 一部してゐる機體単使用 就いてはソビュート倒よ

皇軍の意氣旺盛

等級を液量する場めに、祭祀を を対してある。そこで神社学動の 根底である。そこで神社学動の を対してある。そこで神社学動の のである。そこで神社学動の のである。そこで神社学動の のである。そこで神社学動の

神社の經營難

一二十四日午後七時五十分新京 に特遇凱旋する事さなつ

とく保車の返還が行はれな 西南崎境は全く途路狀態に 西南崎境は全く途路狀態に 返還の選延は昨

全く誠意認められず

の回答内容

交通部抗議內容 八、要するに今回の真媚輸送 ・ 要するに今回の真媚輸送

ち貫欣然さ協力あらん事を目的さなるべき機ての事項目的さなるべき機での事項 観利事ふ事は愚なりさす 臨なれば貴方に於ても平 は一時道を頑さして備ソ に基くものなり終りに一

「個車車司令系養表」古北日 正面の献は中央軍の精を集め を然挑戦的態度を取り、我陣 地正面に向つて逆動の微が見 地正面に向つて逆動の微が見

相田大隊は正午濟萬第二、三 経機の最落點を占據せり、大 経機の最落點を占據せり、大 を動きが目下調査 をなる見込であるが目下調査 をなる見込であるが目下調査 のである、現策は大敵を劉追

存耕資金を

第四回回

第三回

寧安縣下農民

値値 阪神日.....日

日英爲替

機先を制 日北口方面の が軍攻撃を 戦俄然進展し

はないであることを終返すものである。ことを終返すものである。ことを終返すものである。 ここを終返するのである。 はない ここと 明ら右回答の 根本を貫す帝政 ロシア 時代に 根本を貫す帝政 ロシア 時代に 露國側の言ひ 滑稽も基 しいもので

李督辦更に語る

一同性水 の意見を開 をあ事は自明の理であるから を本五月十日の明限までに 返還すべき高級の如何なる 行為に依つても議刑調の既 オフ氏も合つで

東水戦 込んである
さは全く嘘だ、カラハン氏
は問題の責相を知悉して
る管だ又スラウイフキー植 領罪はデカボッド機関車は
のであるが之も全く嘘だ、カラハン氏
は問題の責相を知悉して
を
る管だ又スラウイフキー植 領籍車が乗破の財産にる間 にを
になるがとした。

近く 横元 せん 近く 横元 せん 近く 横元 せん かこれに伸ひ無務事務 海次 ながこれに伸ひ無務事務 海次 繁忙を傷め、現在の機実養務 不便を懸するに至り、警務科で之を統制處理するに種々 不便を懸するに至り、警務科の勝充が叫ばれ、實際問題に の勝充が叫ばれ、實際問題に

いて観られて戻る 静務県昇格が最も實現性が多 いて観られて戻る

統制特別委員會さ政務調査を受け、一四日本部に日诵経済の政策を

19400

50 50

外務拓務等の場合 島崎 會を 場別的の産業政策につき減見 場別的の産業政策につき減見 の産業政策につき減見

出安岛引

大九四理 月月月 限限限物 高

東京

立

アグレマン着く 開州間初代駐日公使丁士派氏 に対するアグレマンは北一日

形で課貨物係では止むなく。 おは、湯州所税順の諒解を得 なくされてゐる、然らに過校

あるで臨時の貸

警務科

最初申請することとなった ・ はの危险もあり雨期も使へて ・ はの危险もあり雨期も使へて ・ はの危险もあり雨期も使へて 一状能 - 放任するを 許すず何さか考慮しなければ か任するを

統制經濟

★上海倫敦 向 本上海倫敦 向 本上海倫敦 向 本上海倫敦 向 本三次公立 一本三次公立 三河公立

大 大阪 表。

九九州 新五 10.1 河 本 20 10.1 河 日本句 **哭菜益** 七七七 后 期米 중

經濟欄 线显五 来缝大

但

海外經濟

姓名数

部失火御見舞 本日失火の際は早速と見舞を添ふし御近本日失火の際は早速と見舞を添ふし御近本日失火の際は早速と見舞を添ふし御近際混雑に取り紛れ尊名を同び洩れる之有際混雑に取り紛れ尊名を同び洩れる之有いである。

一 直子生! ― 外に示したか。支那軍は夫れをよいこさにし頭に後方に脳大なる兵力を集中し月屋々牧第一線に對して逆割を繰り返し毫も挑戦して逆割を繰り返し毫も挑戦

一口に受し を探ること あのみならす時本で継要都軍 に於て其態度を敬めざる限り に於て其態度を敬めざる限り たろ歳習に出づるは無論のことである

に作び貨物

各 位

員を凡そ一

一割方增加

各係ども充實さす

男士の遺骨

五千五百八十八名△計、十五千五百八十八名△四灣、二萬大千三百十二名△四灣街、三萬四千五百十二名△四灣街、三萬四千五百十二名△四灣街、三萬四十二名△四灣村、十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二

北の一部分が末

、男七萬六百名女四萬五萬五千七百六名へその内

うへ、特官す台の下にぜひ訳 し近く首都特祭廳さ打させの こか遺憾さ

發表 おによるさ

であるなほ、今後の関査には 元素橋。道東、散歩間、軍用 道路なご観道北の一角が徐か れてあり、これが静察側べに よるご千九百八十一戸である から凡を萬人ご見て婦人口は 十二萬五千名に上ろ助定であ

、 傭人日本人六十一名

方であるので同事務所で

一次り 一輪目によつ 市京の地方事務所さして萬遺 様なく事務が歳理されるこさ これで事務

おおので病来のましてはいいたので病来のましてはいいたので病来のましてはい は捗る

で既に五分方の埼昌を見たが 蒲洲人六十七名、 計二百一 でもいろくの行事は殖え でもいろくの行事は殖え も、外来者はごしく押しか けて來て應接に関かないさ いつた具合だ、これではご よので うしてもやり切れないさい

借以上に激増してこ 方事務所々管

一名 外 割見當で拾 加するやう本社へ申請した き み本社でも諒さされ潮 では現を見ることになった 從水一割見當で看

時され三二年九月聯盟人平和一九三二年十二月編州副に招 股肱の臣を以て自ら任じ、一に見る信義の人で溥儀執政の 尚に人きしての丁氏は現代稀 使節さして派遣する

二十二日午後四時駅化者歩兵 第〇〇隊機糧銃隊の上野伍長 (敦化)宮崎伍長、嗣末上等兵 神原上等兵(吉林)の遺骨到者 した。周は午後三時半到着の した。周は午後三時半到着の

田中興之吉警佐、年堀奏、由田中興之吉警佐、年城会、明朝等景線はた游動等景線は

死奉会を誓つてゐる 南嶺、寛城子への 尉の遺骨も到着した

終て長尾警務司長以下司職日後四時より市内諸・原際民族は二十二日年

年の川

小包収扱所

開始變更

道路近く改修 近代的の明さる裝ひ 市民の要望實現

地よりの関体客は選日増加した建設産上にある首都新京は大建設産上にある首都新京は 新京の名所 成を目論んである。

恐るべき新京荒し

0

ろ市内三一笠町三丁目二十三番

開始する事に變更した

東海樓火事

匪首三軍の參謀王鳳山

八强盗犯

城内憲兵分

隊で逮捕

手される事になつた、見らく 中・道路は愈々改長工事に着 一 電線子に測 要望する市氏の聲は漸く質理い食弱なもので、改修工事を感じ且つ大新泉の名に恥し次懸い日で、改修工事を 路は満洲海政府に於てそれは市政会署に於て寛城子間道 事變前の儘画等舗装もされ 機小数の部下さ一緒に双債外部下は各地に散在して王も同様のあり、それ以来部下は各地に散在して王も同様のあり、それ以来がある。

男子は女子より遙かに多い

特別市の人口判明

萬五千名

一角を除き

一近代 隋の完成を に不足を生する場合は民間の

次いで方向轉換し陸軍に入る一九〇二年より三ク甲ロンドー九〇二年より三ク甲ロンド時間後は陸軍に所属す。一九〇七年十五名の陸軍留學生を〇七年十五名の陸軍留學生を 清朝時代は陸西南軍部に屋々 第二回ヘーグ平 の三者協力の下に懸案も解決

九一三年の革命後は漢口税

」駐日公使 正式决定 を仰ぐ執政の裁可

向れ近く政府を相談の上決 める考へだ、清朝の流れを 設む溥儀執政を日本皇室さ を結ぶ鍵を持つ重賞にある 社日本湖特命李権を使丁士源 院會講を領過し参議府に諮詢 中の成二十五日の開始で計式 に决定し執政の裁可を仰ぐ事 に決定し執政の裁可を仰ぐ事

新公使の軟び

やかな

アグレマンも着いて

今は赴任の日を待つ

未だ決定するに至らない。

日本からのアダンマンも来たし今は輝かしい針任の日を待けまなつた初代群日公使

お彼の一九二四年成立の半事道等の理事に畢けらる 一九一七年平経職道。平漢賦 別に替さなり、併せて河北省 此間数序革命軍の鎖壓に從事

さ如何にも外を官らしく要心 情的質問には答へまいし でして、条使の資格での具

任の際に詳しく関係するこ

の配者に

ふて領™してくれるが。 京への出産時期を諸紙が

中海軍争尉候補牛に平ぜらち一八七六年 誕生、一八九五

4

小 づカムフラージして

三日から休育毎日間金を開始

機取に努めるここになった 他取による体育の普及をはか をうさいふので鋭点これが計 競技、野球、 庭球 蹴球 艦

まづ民衆の總意を知るため その種目さしては 市政公署の新試み

署ではなるべく全市人多数にのいて調査すべく。同市政会 一從來一の、今後 たの選体をに会に試る 大曾

全市民に向つて 体育種目調查

なごをあけ、これらについ

新京春興首で

新京春観りではコーニー日平崎 において観世流春季大倉を観 において観世流春季大倉を観 清審內見安然

田中卓二〇田村一

一强盗一 丁茂二十日午前十一時ごろ

(一九)を掠奪し、二十二日結婚でするさの情報に接しため婚とするさの情報に接しため し、且つ繁茂別を控へ早やく も部下を募り反論の氣を翻さ のでしつくあるを探知した統 義合屯村是米明選氏の娘米 京城内選兵分除では、種々 王た内め結氏が内領 一上一氏日 二 式用品を質した、小元を費、石塚伍はし 大べく四道 拉哈警備隊

蔣除山匪擊滅 頭目の妻子は捕虜

二十二日チ、ハルデ情報によれば拉哈警備除土屋中財和化工 の三十三名は頭 蔣除山の率の三十三名は頭 蔣除山の率をある二百余の馬賊糾伐ル島十七日拉哈出身、十八日布西保 觀世流路曲 十、掃房二十一、明日は断人全域した敵の清楽せる屍体 鎌の敵を攻撃し、その主の 西々方牙耳尺に堅固な跡 損害はなく二十日無事 こさも、逃したが は補虜ごなって、 清伊申權吉△草紙洗小町―子 未松政實於綺鑫廣△楼川―加藤夫 人太塚夫人△賴政― 参一大川康さ △桜川 | 大川安 佐千 △ 作野 | 山内原子 △富十 大鼓 | 大川を子 △ 玉葛伊 | 東 要・ △ 玉苅 | 伊東 櫛吉 △ 田村 大川宇 -縣忠真木邦彥爾川德母 △猩魚 縣川泰雄前川德學△鵜飼—由 縣川泰雄前川德學△鵜飼—由 田敬次山内敬二一△忠度-眞木 方大坦房子後膝夫人宋松夫人 山內敬二伊申權吉杜和一 プレ山縣忠山

・前二時十分頃市内常駿町 を出す を出す 大連製氷の

頭くが如き期待裡に愈々

來る廿四日公演(世代日出)

小学第二段

電話申込者

開設された復順要港が司令 新京海友會から 殉職七

警官

官一をがめつた 種を配し、併せて幹州各位 友者では「中回の

市内經王寺で執行 な慰襲祭 職を一 蘇炳文

廿四日に延期 ては種々なる優説像へられつは縁柄文等の行方所在等についるがら路鎖に遡入せるは縁軍の順に脱くも打ち敗ら

合計六十六名は十八日午前三 は馬占山李杜並に夫等の随目 は馬占山李杜並に夫等の随目 思はれる モスタワ出版、十月日ボーラ 放券の査超を受じ、十八日夜 れ。ポーランド公使館に於て時多ペリヤ經由モスクワに現 林に何つた。 3

各

位

イル

原東京北二日発動地 コルズ 原城へ飛行を敢行する事さなつ 向ひ代行を敢行する事さなつ

十二日(日曜日)午後二時より開催 氣 春 ティダンス 12 春 P 11 ス テ Ξ t " 三七 ブ & !!

祝電 津田少將へ

怠よ近日開始

に「興懸戒を感謝す」この没 乗 種した津田 静枝 少時に宛 臨床を祝す」この祝暇を徒

作、山口各十等長は一泉王

取問べたさこ

を演じた

四遺街老馬管子院に居住す

战氏

ガケ

兵隊は開銃隊第一連長こり 双體台自衛順員加入前後六 土は十六歳から二十六歳を 一に捕縛、 亘つて馬車夫を動った

し、昨年十二月巻春城内西馬賊を敢行するこさを央行 に變じ且つ

伯林 海路支那に歸るか

て従業員の救出作業を一つこの版表マスクを使用して辛うじの表マスクを使用して辛うじ 二十即の現場室内はアンモニ た、急報に接した大連消防隊 傷六名を出すの椿事を惹起し 雪さ共に爆雑し即死三名。 **州アンモニアタンクが一大音** 大連製氷等社冷却室にて冷却

銘酒福鶴釀造元人

新京吉野町五丁目

が、而白き收入がなく昭和り一時道選に居住してのた 日下酸重取調中である 一城內一

北勝さ共謀し部下四名を奉ひ 走し、積いて同月四日部下収 競を強奪逃走した旨自丸した 大洋二、萬吊拳銃二挺彈丸百十 願ひ、青林宮帖、随幣、哈大 房を襲ひせ 南點養公油

三十分ごろ城内四馬路所替帰線いて本年四月一日午後四時

一千吊を

旧选坦 (電話三七五三番) 次白

のだ 舞喜をジャズもスターも當代隨一悉く一九三三年 帝都レヴュー界の最大權威!見よこの絢燥豪華の

シヤズオブ東京春の公演熟堂斯界の王者カワベキミオ

田中壽々子外五拾有余の艶麗美女の群・

主催新京日報社

於

長

春

4 ナアンダ ナンダ

2

修請

新京東三條涌卆番地

長春鐵工所

自分の能力さ云つた風のを

晶のやうなものをもつてゆきたがつたり洋服の折目なごを妙に苦にするやて何かやつてるますその時に默つてるましたが、ごっも顔を苦にして化樹は全くなかつたのにこの三月喧フト子供の家に入りますさ、子供が鏡を見子があるのに気づいて心を痛めてゐるのでございます。之まではそんな事[四]私の長男で今度中學の三年になる子でございます。最近一寸變つた標

行末が案じられてなりません

たがる

うな肌が出て来ていいばで品のやうなものをもつてゆ

まだ中學三年生だのに

間とは、一世界



青年の心持がせ いるの南教授は種々田

F、W、フェービャン及びII、 なる程がこさでもわり年せん ロチブラ菌を飲力 外から 係諸方面に重衡がられるだら ・ の電の静官を始め縁 ・ の電の静官を始め縁

ここでもなく、お覧き」

I 事 設 計 請 預





何ち場所も用意してある。 煩い 一端に片手で握れる位の印面がな ゴム製平板 共少多非是 すまび顧命下待

之はその年頃の特徴です

一と見詰る



當店自慢

塲

電話三八四二番 方

大津梨 リ内地一五 トカ 内 サ 人 デラ 被 F 多 小大 〇八〇〇〇〇〇 赤一白一牛 赤里大蓬鞋 大大大 內 內 里 大蓬鞋 及 沙達根 夢 地学 李 物草 別 〇〇〇〇〇 一 〇一一一 ি 校 大八四五 五八〇〇一 段 内ケラ 地ギル の五 元〇 同菜 ON.

電 富山町二丁目一四京津電氣公司 電話二三三五番 暖房工 自動車級命物 鐵工

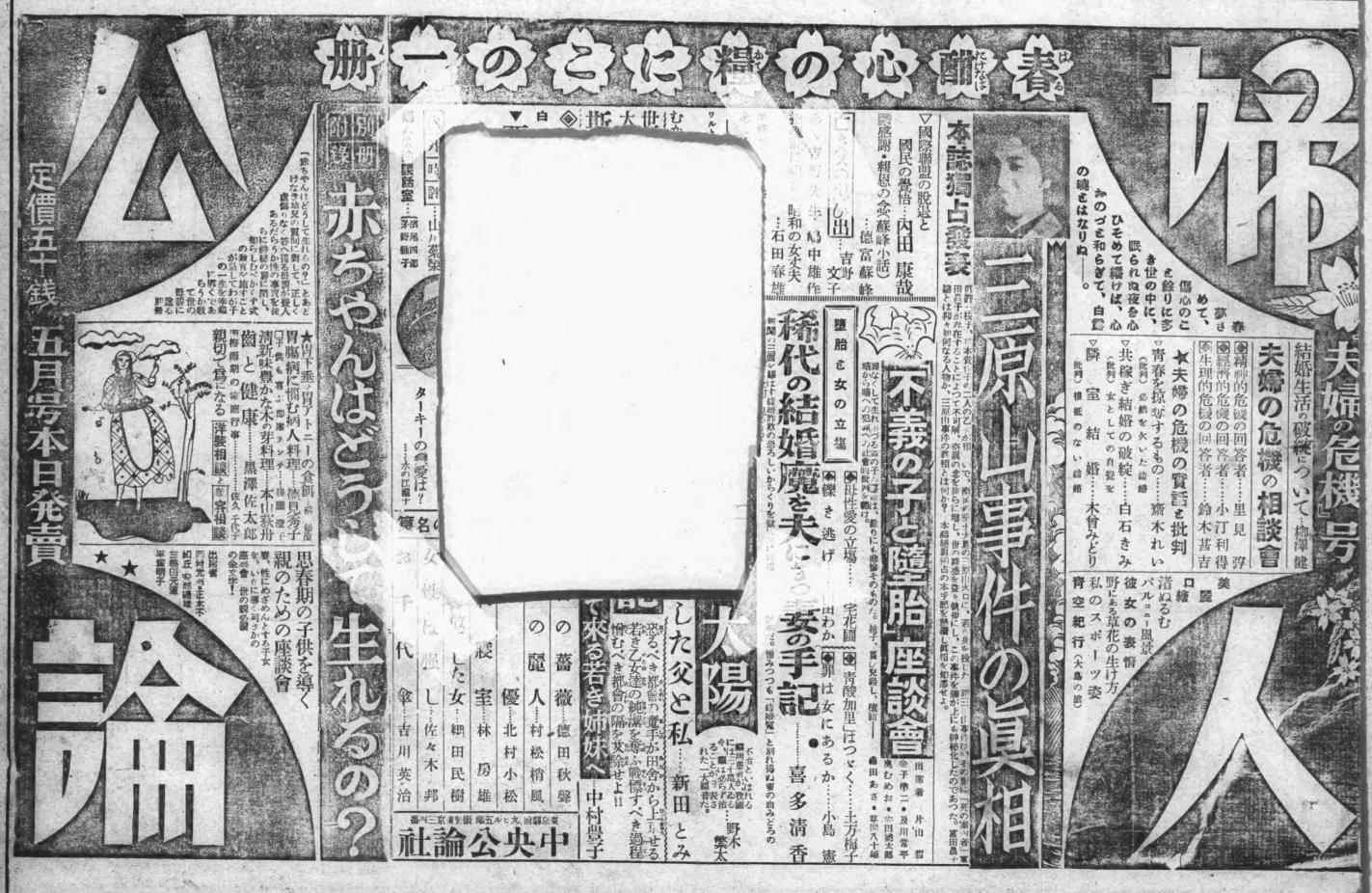
御藥の御用は 是非御電話にて 話二六〇二番 **吉野町二丁目一番地**

諸人様がマシンツール発動機・ウオシントボンプ各種機械設置並に設計闘面 お眠話を頂きましたら早速お見積りにお何ひ致ます 日本一サカイ式原床製作 の機械工場開業」 力局%店.

新層ミ上敷各種

鯉幟陳列即賣會 輪車 タイムステツキム乳母車ム三 春の帽子とワイシャッムネク 松入田台加盟店 五色羊羹モナカ 平本洋行 意話二一正八香

九月武者人形と 五 防 月 宅 燄 通 3 電話二大四八番 雨



百貨店。

純作

風ハリウツド式

吉

田

光

大長洋行製

大經路第三市場二十號

五

營

新京常線町一丁目六番地二新京中央通大阪屋號向横町

自

車

肺 ~ 古

堂

三

新

荷

着

級灸治療は醫術の補足と見る可くリュウ も旬日を出ずして容易に全治する事を得 でし其の他瘍、チョウ、セツの如き一切 の腫物は切開せずして治療し瘢痕或は機 能障害を胎すことなし

立ちし大長洋行が一九三三年雰頭に投無批判の道を行く同業界に沈默を破て

(B

躍

B)

品取目扱

生来"。金物"木材。化學肥 讀消用品" 魔氣其他機械類

三四七四〇五六六四一人〇三四二

社朋三保保 險

員長井

社社会

宅主庫險務

档

0

枕杉電原

他太木材

木

丸柱木

杭製

曙町二丁目二六番地

秋田商會木材株式新京支店

大連 支店 衛題 奉天

三盛町四丁目十四番

話二九六八番

資 本 金 店

一億圓(全額拂込濟)

三井物産株式會

品

鍊

h

0

中央通公園前電話三九三三番

設衛煖機

計生房械

工事請負業

北

田

I

取次電話二〇三五番 所

何ンデモ親切ニ急イデ致シマ

ス

行銀洲滿

八和

年洋

度內

の照

明

器 具

は

(四)

るデザイン 教の。偉力をほこ 壁畵 區

社 京

アトリヱ 新京祝町三丁目 電話三一五一香

> 草腹のシーズンは 小林の履物は皆様の 御手許へ参るべく 最新帝行の御腹物が 來店を

炭 物 店

話 至洋 電話二三四四番 四五 t/行 Fauntamentamentament The Committee of th

作旣釣運 製 製 其 用 服服式品

石

動具 話三四四

☆店

第二五五〇四

min I Ic

話球 三テ 四二 山 四ス 六運 御 三年町二丁目 命 0 店 さいませ

科目一三、代辨及保證一六、答案一二、海陸運送取扱營業一四、

前各項關係一切業務 一切業務

國際運輸縣

新京支店

0 訪 思

料 理

美人。麗人

御

内地から名數參

ました

目種業營

見よ高らかに叫ぶ我等が躍進振を萬人均等しく渇望の的

ぜし巨弾

ヤマトコントロー東 亞ペイント 會到 東 亞ペイント 會到 內外洋服地並附屬品卸 場タ光ウ し鐵ラリタラ網スユイ 類類

引越荷物荷造 誠り 本 占大 进市 衣藏 町 電話 劉三七二七番

自

運

陸

動

送

車

物

海

貨

意、努力、 新 京 支 店

食料品? 丸平洋行

出前迅速に致します かは焼ごんぶり 電三四四五 虎

Manage of the state of the stat

お待ちかねの うなぎ

ドオゾ御加入願ヒマス =

申込四月三十日迄 初回抽籤五月一日 3 笠

洋 行 購

親切確實ナ地場銀行 融 新京三笠町三丁目八番地 預 金

金

計の新京 電話二九四四番 行

> テレビアン受信機 七球式 型錄進呈 ヂ オ

和登商行ラヂオ部

羽根浦県の御川人を願ひます。一個一報大郎を願ひます。一個一報大郎を願ひます。

₩電話二三三番 山本商店

特約販賣店 和洋酒食料品 立處に何でも揃います 日用雜貨荒物類 市場出張所の店は 電話二五二一番 (電二六四〇番)